

学校名	宇陀市立大宇陀中学校
評価者名	瀧川 久治                      水野 恒夫                      西本 美幸
実施日	令和4年3月7日

大項目	中項目	達成状況・取組状況について	取組の適切さについて	改善方策について
I 教育活動に関するもの	挨拶の日常化と清掃活動の習慣化	・校内、校外における挨拶は、各アンケートの結果から、生徒が積極的に挨拶をしており成果がうかがえる。	・育友会や更生保護女性の会の協力を得ながら、生徒会を中心とした自主的な活動となっている。	・継続してもらいたい。
	基礎的基本的な学力の充実	・ユニバーサルデザインを授業に取り入れれたり、部活動の無い、水曜日の放課後学習や3年生の早朝学習、さらには長期休業中の学習教室を行うなど、学習の苦手な生徒に対する取組が定着してきた。効果の検証をしてもらいたい。	・授業研究を深め、わかりやすい授業の創造を目指し、子ども達の学力をさらに伸ばしてもらいたい。	・家庭学習の習慣を付けるため、毎日何かの課題を与え、保護者へ協力を求めるなどより積極的な取組が必要である。
	生徒会活動、部活動の活性化	・生徒や先生は熱心に取り組んでおり、成果を上げている。	・良き伝統になっているので、継続してもらいたい。	
	人権意識の育成		・継続してもらいたい。	
II 学校経営に関するもの	組織運営	・学校目標の達成に向け取り組みが行われ、生徒も落ち着いた状態で学習活動を行っている。	・小学校との連携や協働の機会を計画的に実施していく必要がある。	・連携のための組織を作り取組む必要があるのではないか。
	危機管理	・避難訓練は実施されている。 ・新型コロナウイルスへの対応については、ご苦労をかけている。	・複数回の実施をする必要がある。	・危機管理マニュアルの有効活用。 ・継続した取組をお願いしたい。
	保健管理	・教育相談の充実など関係機関と連携した取組が行われている。	・実績からカウンセラーのニーズが増えている。	・県や市に引き続き要望して「カウンセラー」の時間を大幅に増やす。
	保護者・地域との連携	・地域の力を借りて、学生ボランティア活動や花いっぱい運動などを実施しているがさらなる深化を望む。	・生徒のガイドボランティア活動や花いっぱい運動は大変良い取組である。	・生徒への呼びかけを強化し、継続、発展させる。
	教育環境整備 働き方改革推進	・清掃活動も熱心で学習環境は整備されている。 ・ノー残業デイの効果が浸透しつつある。	・継続願いたい。 ・さらなる業務の改善に努めてもらいたい。	・年次有給休暇の積極的取得。

## 【その他学校に対する意見】

・毎年、緻密な教育計画のもと、生徒を中心に据えた教育活動に取り組んでいただき感謝する。今年度も、新型コロナウイルス感染関係で、学校生活と安心安全が脅かされた年であった。しかし、昨年度のように長期に及ぶ臨時休校が実施されなかったことは幸いである。これからの学校生活は今までどうりにできない事柄が多く発生したり、新しく取組まなければならないことが、これまで以上に出てくると予想される。こんな時こそ、全教職員が一致して教育の基本に沿って、生徒が意欲的に取り組めるような継続した指導を望む。